

## 令和6年度 事業計画

### 第Ⅰ 基本方針

厚生労働白書によると、本格的な少子高齢化・人口減少社会に突入しているわが国では、今後、単身世帯が一層増加していく見込みであり、地域の中などで助け合うといった繋がり希薄になってきています。

身近な地域において、誰もが支援に繋がり助け合えるような社会の仕組みが求められています。そのためには人々が地域社会と繋がりを持ちながら安心して生活を送ることができる「地域共生社会」の実現は不可欠であるとしています。

こうした中、この地域共生社会実現に向けて、我々米原市シルバー人材センターの果たすべき役割とは何かを十分認識して活動することが大事です。「つながり・支えあい」を継続していくためには、シルバー会員の得意分野を生かした参画、デジタル等を活用した地域社会への参画等が考えられます。

特に、「地域社会への貢献」は我々シルバー会員の得意とするところであり、地域社会の一員として存在意義をより一層高めて、地方公共団体やあらゆる組織との連携を強化して事業を推進してまいります。特に、小売業・サービス業等の人手不足企業への派遣や高齢者の就業機会創出・働き方改革の実現等に取り組む企業との協業についても積極的に取り組みます。

他方、高齢者が若干苦手としている「デジタル化の推進」についても積極的に取り組んでまいります。フリーランス新法で義務化される就業条件の明示についても早急を実施してまいります。これらデジタル化の推進に当たっては、会員への研修を充実した内容でフォローして新法で規定されること以外の項目についても、積極的に取り組んでまいります。

また、「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものであり、組織を挙げて安全対策のより一層の推進を図り、重篤事故など傷害事故の撲滅を図ることが重要であります。「安全メール」などを活用し、事故事例を「他人ごと」ではなく、「自分のこと」として認識することが大事です。一方、フリーランスにも「労災保険」への加入が検討されておりますが、その実施に対しては万全を期して対応してまいります。

地域の皆様の「居場所づくり」においては、当シルバーの独自事業「田んぼっ湖カフェ」も大いに貢献していると認識しております。より一層地域の皆様にご利用いただけるように、デジタルも駆使して様々な情報の発信をしてまいります。

## 第Ⅱ 数値目標

シルバー事業運営における位置づけて、中期五ヵ年計画のもと数値目標を設定し、次の目標に向かい事業運営に努めてまいります。

・会員数	850名
・受注件数	2,750件
・契約金額(派遣含む)	453,000千円

## 第Ⅲ 事業計画

### 1. 会員確保・拡大と組織の充実

#### (1) 入会説明会後の対象者への対応

- ・仮会員制度の導入(入会説明会時に仮登録の意思を確認、会員登録へ進める)

#### (2) 会員組織の活性化

- ・地区交流会の開催促進
- ・会員のポイント表彰制度の導入

センター組織活動・ボランティア活動に参加、または新規会員の紹介を行った会員に対してポイントを付与します。500P貯まると記念品と交換できます。

※令和6年度導入

#### (3) 会員の資質向上

- ・接遇講習会の実施
- ・職群別講習の実施
- ・安全講習の実施

### 2. 安全・適正就業への取り組み強化

#### (1) 安全就業の推進および取り組み

- ・刈払い機使用での飛び石事故“0”の取り組み
- ・会員への防護ネット利用100%への取り組み
- ・新入会員への安全講習の実施(2ヶ月毎に開催)

#### (2) 公平・適正就業への取り組み

- ・就業時の会員への作業内容と条件の説明の徹底
- ・施設管理等就業基準の徹底

### 3. 多様な就業機会の確保

- (1) 既存の就業先での新たな職種の開拓
- (2) 会員の生活様式に対応した就業先の確保(勤務時間、就業内容等)
- (3) 会員の技能を活かした、有料講習会の企画実施
- (4) 顧客のニーズに対応した就業先の確保
- (5) 新規就業先の確保
- (6) センターの特性を生かした就業開拓

### 4. デジタル技術の活用

- (1) ホームページの充実
  - ・外部委託を行い見やすいホームページに変更
  - ・スマイル to スマイルの活用
- (2) WEB 入会の活用
- (3) スマホ、講習会の実施(職群班での活用)
- (4) フリーランス新法対策
- (5) 役員を含めたペーパーレス化の推進

### 5. 経営基盤の安定

- (1) 健全な財政の確保
  - ・見積り請負方式の実施(令和6年度より除草作業も実施)
- (2) センター組織(地域班、職群班)の充実
  - ・地域班長会議を実施し、地域情報の共有を図る
- (3) 就業条件の明確化
  - ・仕事内容、配分金額の明示
- (4) 事務局体制の充実
  - ・営業力・提案力の強化
  - ・報告・連絡・相談体制の強化

## 第Ⅳ 各委員会の取り組み(計画目標)

中期五ヵ年計画のもと各委員会がそれぞれ委員長・副委員長を中心に一年毎の活動内容を精査し、シルバー人材センターの向上に努めてまいります。

### 1. 安全・適正就業推進委員会

- (1) 事故発生時における、事故分析と発注者との防止対策会議を開催する
- (2) 安全大会・安全講習会の開催
- (3) 安全・適正就業委員会による安全パトロールを実施する  
(委員会参加/年3回、小規模(2~3名)パトロール/強化月間7月・10月実施)
- (4) 安全メールを定期発信し、時期毎の注意喚起を実施
- (5) 2ヶ月に1回、新入会員を対象に、安全就業を目的とした安全講習を実施
- (6) 会員への米原市が行う健康診断受診促進

### 2. 普及啓発委員会

- (1) 各種団体等の会合、各地域イベントへの参加による広報活動を図る  
・イベント参加時に、併設しての出張説明会を実施
- (2) 独自事業「田んぼっ湖カフェ」と坂田駅での広報活動を図る
- (3) ホームページ、ポスター、広報誌、ZTV 等地元メディアによる広報活動を図る  
・SNS の運用(スマイル to スマイルの運用)
- (4) 街頭での啓発活動

### 3. 事業開拓推進委員会

- (1) シルバーにおける事業(屋外作業、障子・襖張りなどの)継続の為の講習会開催
- (2) 田んぼっ湖カフェの来客者増加に向けた啓発活動
- (3) 農福連携事業(他の機関と連携)

### 4. 福祉家事援助サービス推進委員会

- (1) 会員の資質の向上のための講習会を開催する
- (2) 女性会員拡大イベントの実施を図る  
・年間を通し女性を対象としたイベントを実施(地域対象毎に分ける)